令和６年１１月９日

資料１６

音川小学校のあり方協議会のこれまでの活動について

音川小学校のあり方協議会

1

音川小学校のあり方協議会の概要

- １　目的

　音川小学校の子どもが年々減っていくなか、他の学校と統合するのか、または、存続するのか、子どもや地域のことを考えてどうしていくのがよいのかを地域（自治振興会やPTAなど）で話し合い、今後のあり方を考える。

- ２　設立日

　令和５年１２月１３日（水）

2

今年度のメンバー

- 会　長　中山博昭（自治振興会長）
- 副会長　若松俊弘（音川交流センター事業運営委員会長）
  納村駿介（PTA会長）
- 委　員

  五十嵐直行（自治振興会副会長）、清水正之（社会福祉協議会長）

  五十嵐覚（PTA副会長、自治振興会文教部長）、五十嵐達也（PTA副会長）

  舟瀬健史（PTA）、田中仁（PTA）、若松広明（PTA）

  若松勇希（児童クラブ会長）、若松菜央美（音川保育所保護者会会長）

  田中美幸（音川保育所保護者会副会長）

  山本博之（民生委員児童委員協議会会長）

  若瀬しのぶ（民生委員・児童委員（主任児童委員））

  頼成博行（交通安全協会音川支部長）
- 監　事　平野利彦（ふるさとづくり推進協議会長）

※事務局として、市教育委員会が協議会だよりの作成や見学会の段取りなどをサポート。

これまでの主な内容

- **第１回（令和５年１２月１３日）**
  - ・音川小の状況等を確認
- **第２回（令和６年２月２７日）**
  - ・音川小学校のあり方と今後の活動について、意見交換
- **第３回（令和６年５月２９日）**
  - ・学校統合経験者との座談会
- **第４回（令和６年８月６日）**
  - ・前回の座談会と保護者アンケートを受けて、意見交換
- **第５回（令和６年１０月７日）**
  - ・学校見学会
- **第６回（令和６年１０月１５日）**
  - ・学校見学会の振り返り

第３回　座談会（令和６年５月２９日開催）

講師　黒瀬谷地区の宮田自治振興会長、旧樫尾小学校PTAの岩脇元会長

❶統合の背景

（自治振興会長）
　全校児童が２５人に減り、入学する１年生が０人となることも見込まれていたため、保護者の中で統合の話が出た。
　学校がなくなっても地区を今までのような形でどう維持していくかを考えるのが私たちの仕事。

❷統合後の様子

（自治振興会長）
　子どもたち同士は、それぞれの出身校は気にせず仲良くしている。スクールバスにも楽しみながら乗っているようで、大人たちが事前に心配していたほど、子どもたちは気にしていない様子。

（元PTA会長）
　子どもによって慣れるか慣れないかということはあるが、ほとんどの保護者はやはり統合してよかったと話している。

❸統合の議論を進めていく際のアドバイス

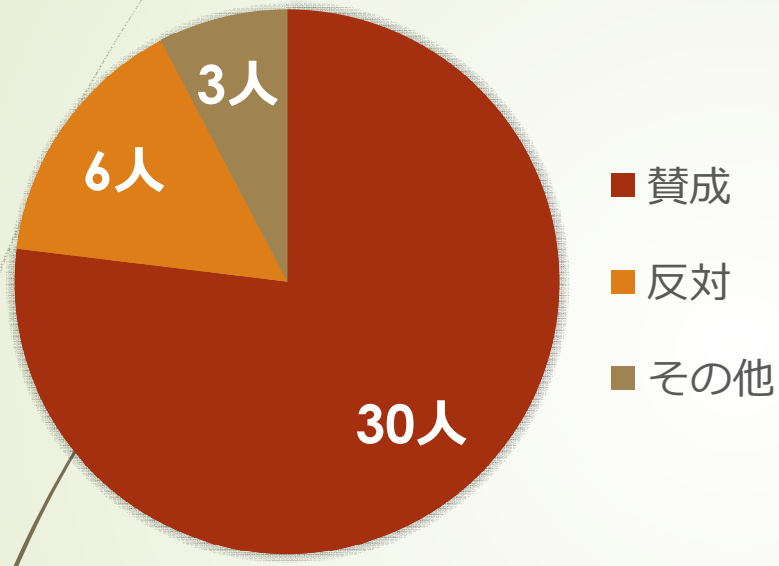
（自治振興会長）
　地域と子どものどちらに重点を置くべきかを考えて話し合い、**子どもにとって本当によいと思われる方向へ進んでほしい**。

（元PTA会長）
　子どもにとって**楽しく学校へ行ける環境を提供してあげるのが親の役目**。

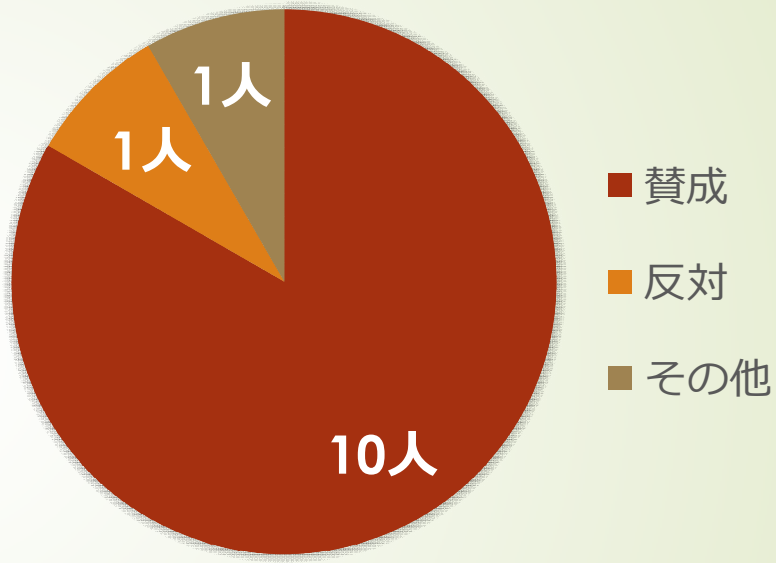
第４回

保護者アンケートの結果（令和６年８月６日開催）

音川小学校の保護者



音川保育所の保護者



【アンケートの結果を踏まえた、委員からの主な意見】

・学校がなくなると地域が衰退するという心配の声が挙がることは当然だと思うし理解できるが、保護者としては、子どもの成長が一番である。

・子どもたちの将来を考える場合、地元が廃れるかどうかという話と子どもの教育は別物である。

・きちんとした結論を出す場合には、実際にほかの小学校を見学するなどの判断材料が必要だ。

第５・６回

神保小・古里小・古沢小の見学会

神保小：全校児童242名

古里小：全校児童170名

【主な感想】

・様々な意見が飛び交い、授業が活発になっていく環境が子どもたちにとって大事なのだと実感した。

・子どもの将来を考えた時、神保小や古里小くらいの人数がいる環境がちょうどいいのではないか。

・授業に活気があり、子どもと先生のコミュニケーションも活発だった。音川小の児童もこのような人数のクラスで過ごしたら刺激を受けると思う。

第５･６回

神保小・古里小・古沢小の見学会

古沢小：全校児童47名

【主な感想】

・スクールサポーターや学習補助員は常時いるわけではないことや2学年分の授業の準備を行う先生側の大変さを聞き、難しいと思った。

・児童が少ないなりに先生方は工夫して授業を進めているという印象を受けた。

・授業は思っていたよりよかったが、勉強以外の集団行動等の面を優先して考えると、複式学級は苦しいのではないか。

第５・６回

神保小・古里小・古沢小の見学会

【統合に関する意見】

・もし統合するなら、学校設備のよさを考慮し、神保小より古里小がいいのではないか。また、神保小といきなり統合するより、古里小ほどの人数規模の学校と統合するのが望ましい。

・理想は音川・神保・古里の３校同時統合だが、それをするには時間がかかるので、まずは古里小か神保小のどちらかと一時統合した方がいいと思う。

・音川・神保・古里の３つの校区の代表が集まり、統合の議論を進めていくべきではないか。

協議会としての考え

- 「子どもの成長にとっての良い環境」を整えるのであれば、**音川小学校は統合した方がいいのではないか。**
- 学校の様子や場所を考慮し、**統合先は古里小学校がいいのではないか。**
- 音川の未来を担うのは子どもたちなのだから、より良い環境で学んでほしい。
- 地域を活性させるには、統合後に私たち大人がどう考え、どう頑張るかだと思う。